



身近なテーマで、人権問題について考えるコーナーです。

人権学習に関する 視聴覚教材を貸出しています

総合生涯学習センターでは、同和問題をはじめ児童虐待、ドメスティック・バイオレンスなど、さまざまな人権学習に関するビデオや16ミリフィルムの貸出しを無料でおこなっています。学校やPTA、企業などの団体での人権学習にお役立てください。

予約の方法

3か月先まで、電話(06-6345-5020)または来館にて予約できます。所蔵教材の目録をお配りしており、多くのリストから選ぶことができます。また、ビデオ教材・DVD教材に関しては、センター内で視聴もできますので、ご活用ください。

***インターネットでも検索できます。**

「いちょうネット(大阪市生涯学習情報提供システム)」(<http://www.manabi.city.osaka.jp/>)より、「7 視聴覚教材」を選んでください。

貸出しの方法

貸出し教材	16ミリフィルム(上映合計時間120分以内) ビデオ・DVD(3本以内)
利用期間	7泊8日
貸出し対象	原則として大阪市内の学校、PTA、地域団体、 企業等の団体、グループ。* 個人貸出しはしていません。
貸出方法	総合生涯学習センターに直接来館し、所定の利用申込書に 記入の上、利用報告書と教材を受け取ってください。 * 郵送での貸出・返却はできません。 * 貸出し手続きに証明書類などはいりません。
注意事項	* 営利的・政治的・宗教的な活動を目的とする場合は 貸出しできません。

相談・問い合わせ

総合生涯学習センターでは、教材の内容も含め、人権学習に関する相談もお受けしています。お気軽にご相談ください。

大阪市立総合生涯学習センター
〒530-0001 北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階
(電話)06-6345-5020 (FAX)06-6345-5019

新着教材をご紹介します。



資料番号5650 30分

「部落の心を伝えたい」シリーズ⑫ 「若い力は今」

自らの差別体験を通して、「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん(27)。
今、講演依頼が相次ぐ。
若さ溢れる熱く力強い語りは、行政・企業・学校で大きな反響を呼んでいる。

資料番号DVD5005 39分

「起こる前に考える 子ども虐待」

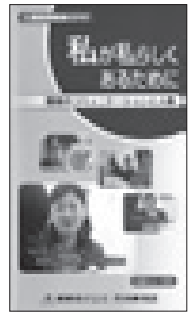


世代間でくり返される虐待 …愛着の形成と子育て支援のポイント

虐待の問題を予防という観点に立つと、核心はこの愛着形成にあると考えられる。虐待の背景には養育者との愛着関係がうまく形成されてなかった事例が多く報告されているのである。また都市化と核家族化が進んだ現代社会では子育て支援が喫緊。極めて重要な課題として浮上してきている。

資料番号5644 26分

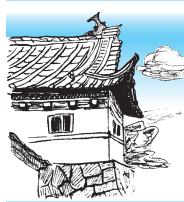
「私が私らしくあるために」 職場のコミュニケーションと人権



主人公は、契約社員の渡辺直美。かつては、この会社の正社員でしたが、契約社員として職場復帰しています。渡辺は、一歩引いた視点で、自分の気づいたことを職場の一人一人に、それとなく伝えていきます。

この職場は、皆それぞれが頑張っていますが、忙しさのあまり、相手の立場や状況への配慮、想像力が欠けてしまっています。その結果、相互の思惑の些細な食い違いをうみ、職場がバラバラになっていき、大事なプレゼンも失敗してしまいます。

失敗をきっかけに自分の職場の状況に気づいた井上課長は、渡辺の助言をヒントに一人一人に働きかけます。一人一人が自分の課題に気づいたとき、職場は次第に一つにまとまっていきます。



おおさか歴史探訪 ④

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

えきていし 駅通司大阪郵便役所跡 ー大阪の郵便事情ことばはじめー

今年もあとわずかととなり、年賀状のことが気になる時節となりました。今回は明治初期の大阪の郵便事情について紹介します。

明治政府は郵便制度を一新するため、前島密を中心として西洋の進んだ郵便制度を導入し、郵便事業を官営化しました。運輸、通信を管轄する官庁として駅通司という役所をつくり、明治4年に、東京-大阪間で近代郵便制度が開始されました。わが国最初の切手「竜文切手」4種が発行され、「書状集箱」(郵便ポスト)が設置されました。東京には11ヶ所、京都には4ヶ所、大阪には7ヶ所、東海道の各宿駅には上り用と下り用の2つが設置されました。駅通司の下に東京、京都、大阪には郵便役所が置かれていましたが、大阪では御堂筋に面した日本銀行大阪支店の場所に置かれました。その後明治10年には「大阪郵便局」と改称して、北浜東の現在の日本郵政公社の地に移りました。

郵便制度が定着してくると、年賀状に郵便を利用するようになりました。明治20年ころには年賀状を出すことは国民の年中行事となっていたようで、年末年始は郵便物が膨大な量となり、一般の郵便物の遅配などの問題が生じるようになりました。そこで明治32年に、指定された郵便局で一般の郵便物とは別枠で年賀郵便を受け付ける制度が始まりました。年賀郵便は必要に迫られて始められたものだったのです。ちなみに「お年玉付き年賀はがき」が始められたのは昭和24年で、戦後の荒廃した人々の気持ちをやわらげる意図がありました。

(大阪市教育委員会 文化財保護担当)

